

# 高知県立 高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

## OHAKU NEWS

Volume  
12

# 城博の日

開館4周年  
ジョーハク

令和3年  
3月6・7日  
城博の日

3月6日(土)・7日(日)は  
展示観覧料  
**無料**

**ご来館の皆さまへ**  
当館は新型コロナウイルス感染対策を講じた上で開館しております。ご来館の皆さまには、マスクの着用、手指の消毒をお願いしております。また展示室をご利用いただく際には、検温およびご連絡先の記入へのご協力をお願いしております。  
(万が一館内で新型コロナウイルスの感染が発生した場合に保健所等の公的機関に利用者情報を提供するため)  
**感染防止のため、ご理解とご協力を何卒お願いいたします。**

**展示室開室スケジュール** ●令和2年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧いただけます。

3F	2月	3月	4月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第4期 特集「大名家の年賀状」 ～2月23日(火・祝)	3月5日(金)	第5期 特集「土佐の祭礼」 ～5月9日(日)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第5期 特集コーナー「つるかめ・ひなまつり」 ～4月5日(月)		
企画展 特別展示室	知られざる城博コレクション ～3月8日(月)	よみがえる山内家資料の美と歴史 3月20日(土・祝)	～5月18日(火)

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、イベント内容の変更や中止となる場合があります。最新情報は当館のホームページやSNSまたはお電話にてご確認ください。

**3/6 sat.** 記念講座  
「花押と印章  
—古文書における署名の作法—」  
講師 渡部淳(当館館長)  
時間 13時～14時 **要申込み**  
会場 当館1階ホール  
定員 30名(要事前申込/先着)  
参加費 無料

**3/7 sun.** 高知城なぞときツアー! **③** **要申込み(2/21日)**  
一緒に地図を見ながら高知城内をめぐる、高知城にまつわるクイズに挑戦! みんなは何問答えられるかな?  
雨天の場合は3月14日(日)に延期します。  
参加予定の方は延期が済みますか、電話でお知らせします。

**3/6 sat.** 土佐藩主山内家墓所特別公開 **②**  
国土新指定日(3月1日)を記念して、土佐藩主山内家墓所の一部を公開、職員がご案内します。  
時間 ①9時30分～②11時～③15時～(1時間程度)  
定員 各回15名(要事前申込) **要申込み(2/21日)**  
参加費 無料  
集合場所 史跡土佐藩主山内家墓所前に現地集合です。

**3/7 sun.** 公開収録 学芸員ミニレクチャー **④**  
令和2年度に行われた調査研究の成果から、担当学芸員が特に面白いと思った資料やオススメしたい展示についてお話しします。  
時間 10時30分～12時 **申込不要**  
会場 当館1階実習室  
4名の学芸員が順番にお話しします。(各20分程度)  
①「錦旗奪還・近代のコレラ」高木翔太(当館学芸員)  
②「吉田家の文通」藤田雅子(当館学芸員)  
③「古代塗を知っていますか?」尾本節子(当館学芸員)  
④「修理」の世界へようこそ! 田井東浩平(当館学芸員)  
定員 当日先着20名(申込不要)

**3/7 sun.** 城下町散策会 一下町を歩く **⑤**  
講師 横山和弘(当館副館長兼企画課長)、岡井龍史(当館企画員)  
コース 土佐藩の経済の中心地としてにぎわいをみせた下町エリア(はりまや町周辺)  
時間 13時30分～15時30分 **要申込み(2/21日)**  
定員 15名(要事前申込)  
参加費 無料  
集合場所 中央公園南側 堺町バス停付近(電車通り北側)  
解散場所 かるばーと付近  
雨天の場合は3月14日(日)に延期します。  
参加予定の方は延期が済みますか、電話でお知らせします。

**3/6.7は 展示観覧料 無料**

**②③⑤は、申込者多数の場合は抽選**

オンライン配信  
※録画、配信済の様子を当館YouTubeチャンネルにて公開します。  
当日参加できない方はぜひご覧ください。  
※当日参加される方は、オンライン配信のための撮影についてあらかじめご了承ください。(撮影を撮影しますが、参加者の顔等が映り込む場合があります。)

**記念スタンプラリー** 館内に設置した重ね押しスタンプをすべて集めると、3/8以降も記念スタンプラリーはお楽しみいただけます。記念絵はがきが完成します。

**開館時間** 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00)  
※展示室への入室は開館の30分前まで

**休館日** 年末 [12月26日～12月31日]  
※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

**観覧料**

- ◆500円(400円) ※( )は団体20名以上の料金
- ◆企画展開催期間中……………700円(560円)
- ◆年間観覧券……………2,000円
- ◆高知城とのセット券(有効期限は当日限りです)  
〈当館企画展開催期間中〉900円 〈その他の期間〉740円
- ◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料。  
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

**交通アクセス**

- ◆お車をご利用の皆さま  
高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり。
- ◆JRをご利用の皆さま  
JR高知駅からさだん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車、乗り換え(徳川橋または朝倉、または、いの方面行き5分)、高知城前下車、徒歩3分。
- ◆飛行機をご利用の皆さま  
高知龍馬空港からは高知市内と空港間を結ぶ連絡バスをご利用頂けます。JR高知駅行きは「はりまや橋」で、県庁前行きは「県庁前」で下車してください。

**高知県立 高知城歴史博物館**

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5  
TEL.088-871-1600  
FAX.088-871-1619

高知城博 検索

友の会会員  
情報会員  
募集中!

発行日/令和3年(2021)2月12日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館



## 企画展再開第2弾は文化財の修理をテーマにした展覧会を開催。

本展では、「山内家資料の保存と継承」を使命に掲げる当館が、これまで行ってきた修理資料の中から厳選して書画や甲冑、刀剣、古文書などを展示し、その成果を紹介します。さらに修理を支える伝統技術の数々にも注目。職人の手仕事によってなおされる文化財修理の世界をのぞいてみませんか？

### よみがえった巨大な土佐国絵図!!

傷みがひどく、開くことができなかった紙の塊。修理の結果、なんと縦195.3cm×横332.7cmの巨大な土佐国絵図であることがわかりました。今回この国絵図を約3年ぶりに公開。ぜひその迫力をご覧ください。



「土佐国絵図」

### 土佐和紙が文化財を守る!!

高知県で引き継がれた土佐和紙の技術は書画や書物、古文書などの修理に欠かせません。展示では、補修紙製作で国の選定保存技術者の江瀬榮貴氏や、文化財の紙質分析などを行う高知県立紙産業技術センターなどの仕事を紹介します。



補修紙の製作風景(江瀬榮貴氏)

企画展  
CONSERVATION  
for Yamachi Family  
Archives

# 美と歴史

よみがえらせる  
山内家資料の  
伝統の技がなす文化財修理の世界

令和3年(2021年)  
3.20 Sat 5.18 Tue

4  
みどころ



人物など、嘉彩色が施された画面の裏の様子



伝説的な「秀賢郎」

1  
みどころ

### 文化財修理を支える伝統の技

書画や書物をなおす装演技術や刀剣を研ぐ技術など、これらの技術は古くから職人が受け継ぎ、発展させてきたものです。だから人の手で伝わった多くの文化財は、現在も伝統的な技術と材料を使って修理を行います。展示では、職人らのすぐれた技を映像と写真で紹介し、また装演師と刀研ぎ師の仕事を展示室内に再現。道具の展示とあわせて職人の息づかいを体感ください。



甲冑の修理



絵画の修理



刀の研ぎ

3  
みどころ

### 修理でわかる新たな発見

例えば絹に描かれた下の作品は、修理の結果、絹の織り目の透けを利用し、画面の裏から彩色を行う「裏彩色」という技法が用いられていました。これにより、表にみられる人や玩具を淡い彩色でかつ柔らかくみえるよう工夫されています。このように修理では新しい発見に出会えることも多々あります。

## 逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主のお道具など、6万7千点の土佐藩主山内家資料の中から、学芸員がオスメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

## 二十四間星兜鉢

(伝義経の兜)

年代/鎌倉時代後期  
法量/外鉢高二二cm

### 守り伝えた義経の兜の教え

土佐藩の兵学者広瀬実路が8代藩主山内豊範に献上した黒塗りの兜の鉢。今日の研究では兜の形式から鎌倉時代後期の作と推定されていますが、土佐藩では代々「義経の兜」として大切に受け継がれてきました。



二十四間星兜鉢

この兜には、当時の人々が古い物をどのように残そうとしてきたのか、今日の文化財修理の考え方にも重要なエピソードが伝わっています。豊範が高知城の武具蔵を謁見した際のこと、案内役の家臣に豊範はこう述べたそうです。「この兜は源義経の兜として長らく鞍馬山に伝わっていたものを広瀬伝太夫(実路)が探し出し、当家に献上したものだ。大変古く、珍しく貴重な宝であるから、敢えて部品を仕立てようなどとはせず、このままに置いておこうと思う。(省略)：以上の趣意を役人はよく心得、今後手入れを念入りにするように」と。文化財の修理には、「現状維持」と呼ばれる基本理念があります。これ以上傷みが進まないよう手を加えるが、最小

限にとどめ、資料の現状の姿を守るという考えです。文化財修理の一番の目的は、新品のようにきれいにしたり、新しく付け加えたりするのではなく、制作者の意図、時代背景、伝来の歴史など、資料に刻まれた様々な情報を損なうことなく保存し、次の世代に伝えることにあります。義経の兜は、しころも前立も失われた不完全な兜かもしれませんが、しかし、伝来したありのままの兜に価値を見いだし、「敢えて部品を仕立てようなどとはせず」と言った豊範の教えによって、新しく手が加わることなく、長い間残されてきました。その結果、七〇〇年たった今でも私たちは、この兜の貴重な制作当初の姿かたちを目にすることができているのです。(学芸課 資料保存修理室長 田井東浩平)

### 保存

### 資料保存の第一歩はクリーニングから

紙や織物、木材などの材料が中心の日本の文化財は、虫に食べられやすく、被害も甚大です。当館は、地域や個人宅の蔵に残された資料を調査し、寄贈・寄託を受けることが多く、資料に長年積もった埃、混入した虫や糞を取り除くクリーニングは欠かせません。修理室では、資料を搬入するたびに刷毛や専用クリーナーで1点1点丁寧にクリーニングし、その上で収蔵庫に保管します。1度の受け入れて時に数百点を数えることもあります。とても単調で地道な作業ですが、収蔵庫に虫を持ち込まない、繁殖させないための大事な作業なのです。

学芸課 資料保存修理室長 田井東浩平



### 城博の新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、当館では昨年の閉館3周年「城博の日」(令和2年3月7日、8日)をはじめとした年度末の各行事の中止を決定しました。その後国内での感染拡大が続く状況を受けて、高知県は県立施設の臨時休館を決定、3月6日から22日まで当館も臨時休館となりました。なお感染拡大は続き、4月10日から再び臨時休館となり、16日には国の「緊急事態宣言」の発令が全都道府県に拡大、最終的には5月10日まで休館は延長されました。この間、当館では令和2年12月までの企画展の開催中止(特別展示室の閉室)、令和2年度内のすべての城博講座の中止、その他の体験講座や催し物は秋期まで中止することとしました。

再開にあたっては、非接触型検温器による検温、館内各所に設置した消毒器による手指消毒、受付カウンターにアクリル板の設置、人と人との距離をあけての展示鑑賞を呼びかけるサイン表示、さらに換気設備による全館24時間換気の継続、定期的な館内消毒、休憩用の椅子の撤去、来館者情報の記入をお願いするなど、感染対策を一層強化しました。各種サービスについては、体験コーナーをはじめとしたハンズオン展示の撤去、展示音声ガイドの貸出し中止、一般団体向けの展示解説サービス休止(現在は人数制限を含めて感染対策が徹底できる場合に限り実施)、さらに修学旅行や社会科見学などの学校団体の利用にあたっては人数制限や基本的な感染対策の徹底への協力をお願いしています。同様に、貸し会場についても利用人数の制限および基本的な感染予防の

徹底をお願いしたうえで貸出を行っています。このような対応に取り組みながら、夏期は常設展示以外の諸行事の中止を継続、秋期より感染対策をとりながら可能な範囲の行事の開催を再開しましたが、第三波とも呼ばれる11月以降の全国での感染者数の増加傾向を受けて、新年の正月行事の開催を中止、一方で、企画展については館内での感染予防を徹底しながら予定どおり再開しました。新型コロナウイルス感染症の世界的流行からはや一年が経とうとしています。この間、必ずしも全ての方に十分な事業やサービスを実施できないという事態に困惑しながらも、利用者の方々、支えてくださる皆さまの存在の大きさを痛感した一年でもありました。引き続き感染予防の徹底および新型コロナウイルスに対応したサービスに取り組んでいくとともに、一日でも早く、多くの方々に安心して当館をご利用いただける日が戻ってくることを心より願っております。

総務課 広報 大保和巳



### 関連行事が盛りだくさん

#### 記念講演会

「文化財を守る人たち」  
「未来につなぐ匠の技」

日時/3月28日(日) 14時~15時30分  
講師/地主智彦氏  
(文化庁文化財部 副文化財調査官)

#### 実演講座

①「紙つくりの技」  
文化財補修紙の世界

日時/3月28日(日) 10時30分~12時  
講師/江瀬榮貴氏  
(選定保存技術保持者 高知県立紙産業技術センター)

②「研師の技」  
刀剣研磨の世界

日時/4月25日(日)  
午前の部 10時~12時  
午後の部 14時~16時  
講師/藤代興里氏(研師)  
藤代龍成氏(研師)

③「文化財のお医者さんになろう!!」

日時/5月4日(火) 10時~11時45分  
講師/田井東浩平(当館学芸員)

④「マニピュレーターツアー」

申込受付期間/2月20日~3月27日

⑤「お家でできる紙資料のかんたん補修と和綴じ本づくりに挑戦」

日時/5月9日(日) 14時~16時  
講師/田井東浩平(当館学芸員)

⑥「ワークショップ」

日時/3月21日、4月4日、5月2日  
(いずれも日曜日 10時30分~約20分)  
※スライドレクチャーを除く、各関連行事は事前申込みが必要。実演講座①②は、応募多数の場合は抽選。

各行事の詳細(申込み方法・定員・参加費など)は、企画展のチラシ、当館HPをご覧ください。

## 総合展示室 展示情報 歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

1 第5期 3/5~5/10

土佐の祭礼  
総合展示室1では、5万点以上ある山内家伝来の古文書・歴史資料により土佐の歴史を紹介しています。城博開館記念日をはさむ今期は、江戸時代の祭りにまつわる資料を展示します。

2 第5期 1/29~4/5

つるかめ・ひなまつり  
総合展示室2では、土佐藩主山内家に伝わった甲冑や刀剣、能面などの大名道具の世界、また土佐の学者や文人の著作・書画をとおして近世土佐の文化を紹介しています。今期は、おめでたい鶴亀文様を特集。また、毎年恒例の山内家伝来のひな人形・ひな道具も展示します。

